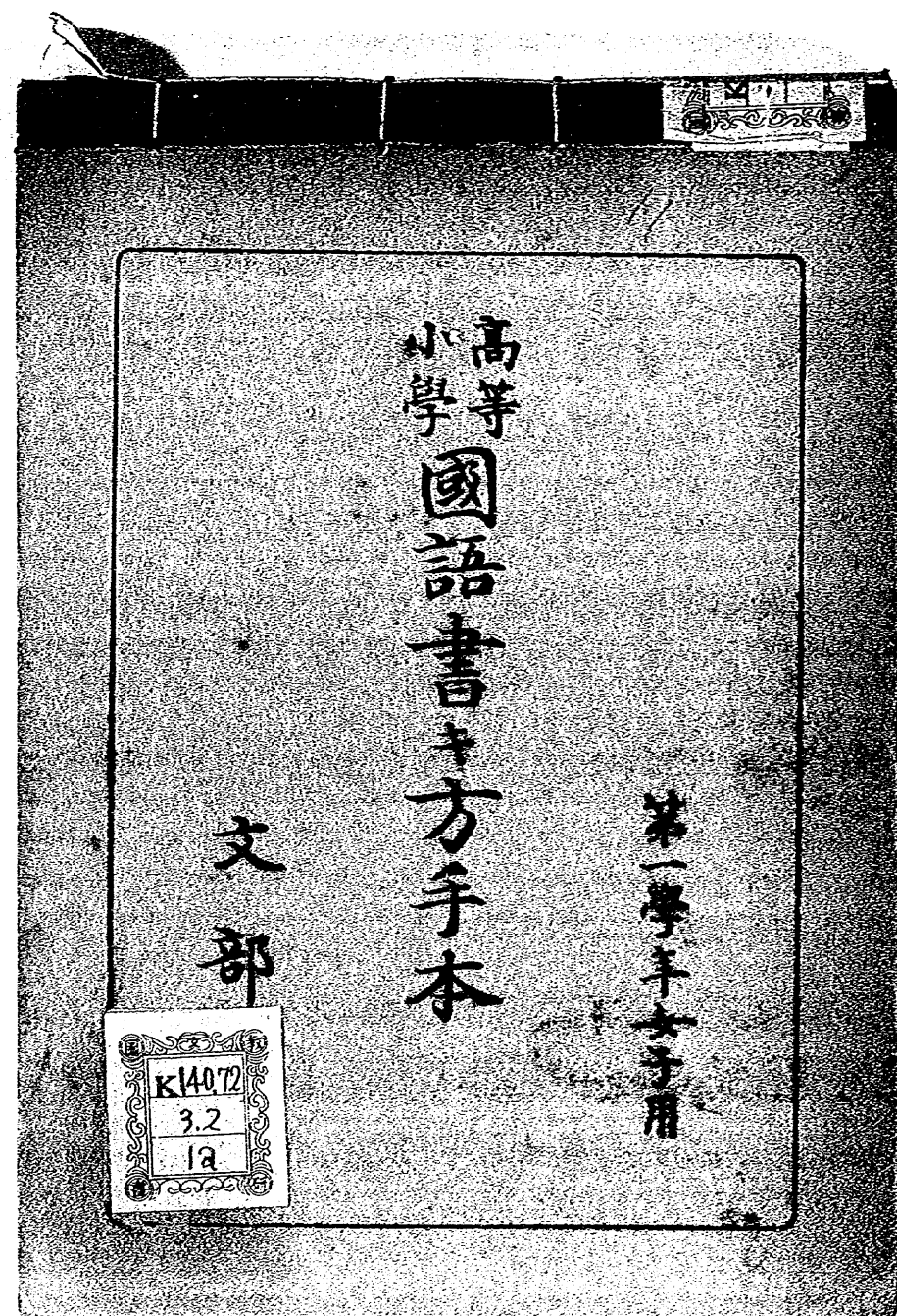
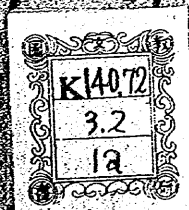




高等小學國語書

第一學年女子用

文部



K140.72

3.2

1a

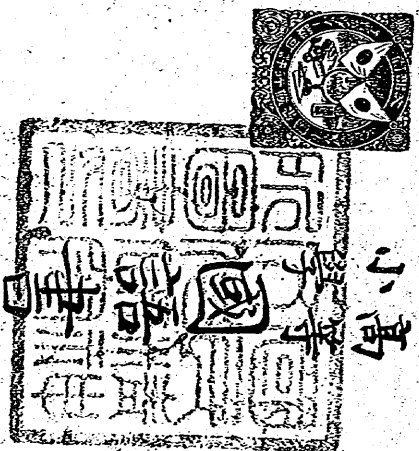
11

高等
小學
國語書
方手本

第一學年女子用

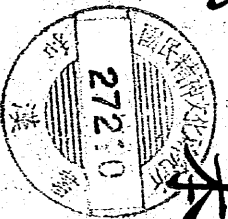
文部





文部省

方手本



第一學年女子用

俯フ 仰ウ

聽ミ 觀ミ

泉ミ 山ミ

(見文集ニ據ル)

註釋ニ

凡 例

一 本書ノ漢字ハ、古人ノ篆隸、世間ノ慣用等ヲ參照シテ、撰寫ニ便スル體ヲ選ベリ。タメニ字典ニ載スル所ノモノト體ヲ異ニセルモノモ少カラサルヲ以テ、別ニ字典所載ノ體ヲ採テ之ガ異同ノ比較ニ資セリ。

一 本書ハ、毎卷、和漢古人ノ名録ヲ選ビ、經史資料トシテ後來ニ附載セリ。

1

俯 仰
聽 觀
泉 山

附圖ニ

集。	史
醫	籍。
書。	歌

宋 王 氏

2



集 史 醫 籍 書 歌

高 國 女 二

暮 ム	隨 ヰ	飛 ヰ	鳥 トリ
朝 アサ	踏 フミ	落 フツ	花 ハナ

(和漢朗詠集二集より)

三

暮 隨 飛 鳥

朝 踏 落 花

歌のうねりかな 芭蕉

白露をこぼさぬ

東に日は西に 蕪村

菜の花や月は

芭蕉

4

菜の花や月は

東に日は西に 蕪村

白露をこぼさぬ

歌のうねりかな 芭蕉

芭蕉

芭蕉

深 空
更 夜
軒 窓
白 閑

(和漢朗詠集ニ採ル)

五

深 更 軒 白
空 夜 窓 閑

信	朋
義	友
愛	歡
情	樂

信義愛情

6

信義愛情

朋友歡樂

高麗文一

六

此の間のお手紙によれば來月初
には文子さんをお連れになり御
いでなさるとの事に一同大喜にて
今より御待ち申上げ居候文子さん
も此の春よりあんよが出来候由
母上も早く見たしと毎日申

此の間のお手紙によれば來月初

には文子さんをお連れになつた

で、^{たのしみ}の事、一回大歓迎

今よりお待ち申上げ候文子さん

も此の春よりあんよが出来候由

母上も早く見たしと毎日申

居られ候私も學校のひまに
つ身の單衣を縫ひ居候これを
着せたらばいかにかはゆらしから
んと一入待遠しき思のせられ候
何卒一日も早く御いで下された
くそれのみ樂しみに致し居候

高國女

8

居られ候私も學校のひまに
つ身の單衣を縫ひ居候これを
着せたらばいかにかはゆらしから
んと一入待遠しき思のせられ
何卒一日も早く御いで下された
くそれのみ樂しみに致し居候

高國女

己。	廉
忍。	潔。
耐。	質。
從。	素。
順。	克。

己忍從順

廉潔質素克

瀟	湘	水	北	流
八	月	洞	庭	秋

(所 時 題 二 填 べ)

瀟湘水北流

八月洞庭秋

空よりひろき武蔵野の原

露おかぬ方もありけり夕立の

武蔵野

11

空よりひろき武蔵野の原

露おかぬ方もありけり夕立の

1+

武蔵野

秋	り、	關
色	蒼	中
西	然	に
よ	と	満
り	し	つ。
來	て	

(原製題三張也)

秋	り	關
色	蒼	中
西	然	に
よ	と	満
り	し	つ
來	て	

萬	長
戶	安
掃,	一
衣,	片,
聲。	月,

(原形を二採り)

萬戸掃衣聲

長安一片月

來 _レ	欲 _レ
尋 _ニ	知 _ニ
山	間
水 _レ	居 _レ
幽 _。	趣 _レ

(後風源ニ據ル)

來	欲
尋	知
山	間
水	居
幽	趣

うち向ふ月は一つの影ながら
浮かぶは千々の思なりけり

後園長一

15

うち向ふ月は一つの影ながら
浮かぶは千々の思なりけり

後園長一

十五

義	赤
秩	城。
父。	榛
筑	名。
波。	妙

建武二

16

義秩父筑波

赤城榛名妙

十六

高國女二

泰 山 は 土 壤 を
讓 ら ず、 河 海 は
細 流 を 擇 ば ず。

(正配ニ據ル)

一五五

泰 山 は 土 壤 を
讓 ら ず 河 海 は
細 流 を 擇 ば ず

國の安危を一身に

擔ふ御身ぞむざく

とこゝにて御最期ある

べしや。疾く落ち給へ。

【対面片】

國の安危を一身に

擔ふ御身ぞむざく

とこゝにて御最期ある

べしや。疾く落ち給へ

送，	雪，	梅	花	笑，
含，	霞，	竹	葉	清。

(霞風清ニ據ル)

送	雪	梅	花	笑
含	霞	竹	葉	清

前途程遠し思
を雁山の夕の
雲に馳す。

(和漢朗詠集三巻上)

和歌六

前途程遠し思
を雁山の夕の
雲に馳す

さうなみや志賀の都はあれ
にしを昔ながらの山ざくらかな

故郷の花
読人しらず

故郷の花

讀人しらず

さうなみや志賀の都はあれ
にしを昔ながらの山ざくらかな

長	生	殿	裏	春
秋	實	不	老	門
前	日	月	遲。	

（和漢朗詠集ニ據シ）

前日月遲

秋富不老門

長生殿裏春

月日の過行くは梭の飛ぶよ
りも早しとか昨日今日種を
下し苗を移しし花井野
菜の花咲き實を結ぶも暫
しの程ぞ待たるゝものは秋
の日にこそ。

月日の過行くは梭の飛ぶよ
りも早しとか昨日今日種を
下し苗を移しし花井野
菜の花咲き實を結ぶも暫
しの程ぞ待たるゝものは秋
の日にこそ。

頌曰

法無行藏隨人去來似我難得則心開

投身半偈豈論寶財孜孜書寫其來悠哉

願此介福國泰人蕃一聞一見並悉脫煩

大周元年十月廿二日入唐學法沙門空海

頌曰

法無行藏隨人去來似寶難得則心開

投身半偈豈論珍財孜孜書寫其來悠哉

願此介福國泰人蕃一聞一見並悉脫煩

大周元年十月廿二日入唐學法沙門空海

ちとせまてちきりしまつるけふよ
りはきみにひかれてよるつよやくむ能宣

藤原行成 世和源別集

ありはらのゆきひろのあそむ
たちわかれいなのはやまのみねにおふる
まつとしきかはしまかくりこむ

たいしらす

藤原行成 古今和歌集

あはれなる心は、あはれなる心

あはれなる心は、あはれなる心

あはれなる心は、あはれなる心

あはれなる心は、あはれなる心

あはれなる心は、あはれなる心

あはれなる心は、あはれなる心

391
33
29

昭和八年二月十三日印刷
昭和八年二月十五日發行
昭和八年二月十五日印刷發行

著作權所有

渡瑠行作
省兼

文

部

省

定價 金九錢

協榮小學圖書館藏本 第四年冬用

日七十月二年八和照
濟查檢省部文

發行所

日本書籍株式會社

印刷所 日本書籍株式會社工場
東京市小石川區久藏町百八番地

總發行所 東京市小石川區久藏町百八番地 24
代表者 大橋光吉
印刷發行 日本書籍株式會社

